

# 住人十色

## 和紙の魅力、折り紙で表現

岡野 千鶴さん(岡第2)



◎季節に合わせて12カ月それぞれに図柄が違うあんどん。10月は「かかしと赤とんぼ」、11月は「木の実」がテーマ。最近は、新たに立体的なドングリの折り方を考えたそう

町を代表する伝統工芸品である五十崎の手漉き和紙。岡野千鶴さんはその和紙を使って、あんどんやはし袋、立体的なモビールなどの折り紙作品を創作しています。

幼いころからとても引つ込み思案で、折り紙やあやとり遊びが好きだったという岡野さん。本格的に和紙の折り紙を始めたのは7年ほど前。自宅商店のショーケースに作品を飾っていたところ、手漉き和紙を生かした町おこしに取り組む「界隈づくり委員会」のメンバーから、「今度開く和紙創作展に出展してみんかい」と声を掛けられたのがきっかけだそうです。

今では作品数も増え、地域の催しなどに招かれて折り紙教室を開くことも。「一枚の紙があれば、子どもからお年寄りまで誰でも楽しめるところが折り紙の魅力。折り紙を通して和紙を身近に感じてもらえたら」と語る岡野さん。

現在は11月20、21日に開かれる第8回和紙創作展に向け、創作に励んでいます。

### 編集 幸記

各地で祭りや楽しい催しがめじろ押しです。取材にお邪魔すると、必ず裏方としてイベントを支え活躍している人たちを見かけます。準備から片付けまで、本当にお疲れ様です。(光)

先日行われた「山並みウォーク」に参加しました。長田、立山、論田地区などの山々を歩くこと32キ、約9時間。道々で参加者の解説があったり地元の人と立ち話したり。「歩いて地域を知る」ということを実感した一日でした。(み)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の  
フリーダイヤル  
☎0120(44)2130

